

研究会案内

今年度(平成21年度)は、アジア経済研究所では以下のアフリカ関連研究会を実施しています。

- ・「経済成長下におけるアフリカ企業」研究会
(主査：福西隆弘・地域研究センター)
- ・「中東・アフリカにおける紛争と国家形成」研究会
(主査：佐藤章・地域研究センター)

また以下の研究会には、所内アフリカ研究者が主査・委員として参加しています。

- ・「国際安全保障における地域メカニズムの新展開」研究会
(主査：望月克哉・研究支援部)
- ・「フェアトレードは貧困削減に結びつくのか」研究会
(主査：佐藤寛・貿易開発部)
- ・「後発開発途上国の開発戦略」研究会
(主査：山形辰史・新領域研究センター)
- ・「新興諸国における高齢者の生活保障システム」研究会
(主査：宇佐見耕一・地域研究センター)
- ・「途上国の農村発展：社会ネットワーク分析からのアプローチ」研究会
(主査：坂田正三・地域研究センター)

上記研究会の概要につきましては、アジア経済研究所のホームページでご覧いただけます。(<http://www.ide.go.jp/Japanese/Research/Project/2009/index.html>)

新規事業の実施

今年度より以下の事業が開始されました。

「対アフリカ投資誘致型事業」

本事業は、2008年のTICAD IV「横浜行動計画」で日本政府が公約したアフリカ支援政策の一環である。予算は政策経費からきており、通常の研究事業とは異なる。研究所の職員6名に加え、東京大学、慶応義塾大学、千葉大学、ストックホルム大学から7名の専門家を招いて、アフリカ研究グループとは別に「アフリカ政策プロジェクト・グループ」を新たに設置した。南アフリカとマダガスカルで日本企業と一緒に、いってみれば援助実験を行うものだ。実験経

済学的手法を用いる。CSRのための有望事業を開発しようとしている。
(平野)

最近の仕事

アジ研研究員の最近の刊行物を紹介します。

児玉由佳

(2009)「資料紹介：吉國恒雄著『燃えるジンバブウェ 南部アフリカにおける「コロナル」・「ポストコロナル」経験』、『アフリカレポート』No.48, p.52。

(2009)「エチオピアの主食インジェラ」『アジ研ワールド・トレンド』No.161, pp.18-19。

(2009)「書評：松村圭一郎著『所有と分配の人類学 エチオピア農村社会の土地と富をめぐる力学』』『アジア経済』Vol.50, No.4, pp.61-65。

(2008)「コーヒーとフェアトレード エチオピアの協同組合の事例から」『アジ研ワールド・トレンド』No.158, pp.18-19。

(2008)「資料紹介：松村圭一郎著『所有と分配の人類学 エチオピア農村社会の土地と富をめぐる力学』』『アフリカレポート』No.47, p.47。

(2008)「コーヒー」国際農林業協働協会編『エチオピアにおける「薬用作物」の現状と可能性』pp.53-61。

(2008)「ユーカリ」上記編所収, pp.71-78。

佐藤章

(2009)「よそもの」『アジ研ワールド・トレンド』No.162, p.60。

(2009)「コートディヴォワールにおける原油生産 開発史、現状、展望」『アフリカレポート』No.48, pp.15-20。

(2008)「歴史の写し画としての和平プロセス 内戦期コートディヴォワール政治における連続性」武内進一編『戦争と平和の間 紛争勃発後のアフリカと国際社会』アジア経済研究所(研究双書No.573), pp.91-123。

(2008)「紛争と経済復興 コートディヴォワール内戦の事例から」『アジ研ワールド・トレンド』No.158, pp.25-26。

(2008)「コートディヴォワールにおける物価高騰とその背景」『アフリカレポート』No.47, pp.20-24。

(2008)「資料紹介：砂野幸稔著『ポストコロナル国家と言語 フランス語公用語国セネガルの言語と社会』」『アフリカレポート』No.47, p.48。

■ 佐藤千鶴子

(2009)『南アフリカの土地改革』日本経済評論社。

(2009)「医療労働者の国際移動と医療人的資源政策 南アフリカの事例」『立命館国際地域研究』No.29, pp.13-32。

(2008)『Sending Society's Responses to International Migration of Nurses and Its Policy Implications: The Case of the Philippines』(co-author: Maria Reinarduth D. CARLOS), *Ritsumeikan International Affairs*, No.6, pp.27-51。

■ 津田みわ

(2009)「復権と『補償金ビジネス』のはざまで ケニアの元『マウマウ』闘士による対英補償請求提訴」永原陽子編『「植民地責任」論 脱植民地化の比較史』青木書店, pp.189-217。

(2009)「暴力化した『キクユ嫌い』 ケニア2007年総選挙後の混乱と複数政党制政治」『地域研究』Vol.9, No.1, pp.90-107。

(2009)「ケニアの元『マウマウ』メンバーによる対英補償請求訴訟」『アフリカレポート』No.48, pp.31-34。

(2009)「資料紹介：富永智津子著『スワヒリ都市の盛衰(世界史リブレット103)』」『アフリカレポート』No.48, p.53。

(2008)「選挙と紛争 二〇〇七年ケニア総選挙後の混乱から」『アジ研ワールド・トレンド』No.158, pp.23-24。

(2008)「2007年ケニア総選挙後の危機」『アフリカレポート』No.47, pp.3-8。

(2008)「資料紹介：池谷和信・武内進一・佐藤廉也編『朝倉世界地理講座12 大地と人間の物語 アフリカⅡ』」『アフリカレポート』No.47, p.47。

■ 平野克己

(2009)“What is Happening in ‘Poor’ Africa?” in Takashi Shiraishi, Tatsufumi Yamagata and Shahid Yusuf eds., *Poverty Reduction and Beyond: Development Strategies for Low-Income Countries*, Palgrave Macmillan, pp.146-163。

(2009)“Into Africa,” *Shosha*, Vol.98, p.3。

(2008)「資源の呪いか、開発の始まりか」『NIRA政策レビュー』No.33, pp.6-8。

(2008)「世界が狙うアフリカ市場で日本が打つべき次の手は？」『SPIRIT』No.48, pp.2-4。

(2008)「企業と政府の連携はどうなる？」『月刊国際協力新聞』No.170, p.3。

(2008)「経済の現状と開発課題」『アジ研ワールド・トレンド』No.158, pp.4-5。

(2008)「両国は利害共有が可能：中国と日本のアフリカ政策」『国際貿易』10月14日号, p.2。

(2008)「サブサハラ・アフリカの経済：その現状と課題」『月刊グローバル経営』10月号, pp.8-11。

(2008)“What Is Happening Now in Africa?” *Kudan Square*, No.28, September, pp.10-11。

■ 福西隆弘

(2009)“Has Low Productivity Constrained the Competitiveness of African Firms?: A Comparison of Kenyan and Bangladeshi Garment Farms,” *Developing Economies*, Vol.47, No.3, pp.307-339。

(2009)「後発開発途上国における労働集約的工業化戦略」山形辰史編『後発開発途上国の開発戦略』調査研究報告書 アジア経済研究所, pp.15-28。

(2009)“Book Review: *Bottom Billion* by Paul Collier,” *Developing Economies*, Vol.47, No.1, pp.107-109。

(2009)「アフリカの開発戦略論 近年における議論の変化」『アフリカレポート』No.48, pp.3-8。

(2008)「経済成長：資源ブームと外国直接投資の影響」『アジ研ワールド・トレンド』No.158, pp.9-11。

■ 牧野久美子

(2009) Shinichi Shigetomi and Kumiko Makino eds., *Protest and Social Movements in the Developing*

World, Cheltenham, UK and Northampton, MA, USA: Edward Elgar.

(2009) "Institutional Conditions for Social Movements to Engage in Formal Politics: The Case of AIDS Activism in Post-Apartheid South Africa," 上記編著所収, pp.110-133.

(2009) "Resources, Organizations and Institutions: Intermediaries for Social Movements in the Development Context," (co-author: Shinichi Shigetomi) 上記編著所収, pp.227-234.

(2009)「書評：阿部利洋著『紛争後社会と向き合う 南アフリカ真実和解委員会』」『アフリカ研究』No.74, pp.72-74.

(2009)「資料紹介：阿部利洋著『紛争後社会と向き合う 南アフリカ真実和解委員会』」『アフリカレポート』No.48, p.52。

(2008)「南アフリカのメディア発展と社会変容」大林稔編『アフリカにおけるメディアの発展と社会変容』平成17年度～平成19年度科学研究費補助金(基盤研究(B))研究成果報告書, pp. 52-60。

望月克哉

(2009) "Opposition Movements and the Youth in Nigeria's Oil-producing Area: An Inquiry into Framing," in Shinichi Shigetomi and Kumiko Makino eds., *Protest and Social Movements in the Developing World*, Cheltenham, UK and Northampton, MA, USA: Edward Elgar, pp.206-224.

(2009) 望月克哉編『国際安全保障における地域メカニズムの新展開』調査研究報告書 アジア経済研究所。

(2009)「アフリカン・ピア・レビュー・メカニズム(APRM)の現状と課題」上記編著所収(第5章), pp.75-86。

(2009)「ナイジェリアの主食とその来歴」『アジア研ワールド・トレンド』No.161, pp.20-21。

(2008)「石油産業の帰趨 ナイジェリアを中心に」『アジア研ワールド・トレンド』No.158, pp.6-8。

吉田栄一

(2009)「フェアトレードによる地域開発支援 マラウイとウガンダの地場産品流通」『アジア研ワールド・トレンド』No.163, pp.27-30。

(2009)「アフリカにおけるフェアトレードを通じた地域支援 ウガンダ, ケニア, マラウイの地場産品と一村一品」佐藤寛編『フェアトレードは貧困削減に結びつくのか』調査研究報告書 アジア経済研究所, pp.63-73。

(2009)「資料紹介：飯田卓著『海を生きる技術と知識の民族誌 マダガスカル漁撈社会の生態人類学』」『アフリカレポート』No.48, p.51。

(2009)「資料紹介：西川芳昭・吉田栄一編『地域の振興 制度構築の多様性と課題』」『アフリカレポート』No.48, p.54。

(2008) *Transformation of a Woodworking and Furniture Industrial District in Kampala, Uganda: Dichotomous Development of SME Cluster and Large Firm Sector*, IDE Discussion Paper Series, No.171.

(2008)「資料紹介：吉田栄一編『アフリカ開発援助の新課題 アフリカ開発会議TICAD IVと北海道洞爺湖サミット』」『アフリカレポート』No.47, p.50。

(2008)「アフリカ開発会議の成果と課題 第4回横浜会議を終えて」『アフリカレポート』No.47, pp.43-46。

編集後記

食糧安全保障が再び論議的となっている。今回の特集はこの古くて新しい問題に対するアプローチを示唆するものだろう。南アの政権交代を捉えた特集とともに、今日的課題に注目している。(望月記)

アフリカレポート 第49号

アジア経済研究所
独立行政法人日本貿易振興機構

編集 『アフリカレポート』編集委員会

発行 研究支援部

〒261-8545 千葉市美浜区若葉3-2-2

TEL 043-299-9735 FAX 043-299-9736

E-mail: syuppan@ide.go.jp

2009年9月30日発行 © 定価735円(本体価格700円)